

「1968」を編みなおす

第1号の刊行から約1年たち、今春、『社会運動史研究』は無事2号の刊行にこぎ着けました。

2号の特集は「「1968」を編みなおす」と題し、「1968」の社会運動にかんするこれまでの議論を相対化・豊穡化することを試みました。

なぜ、いま「1968」を編みなおす必要があるのか。特集の目論見はどれほど成功しているのか。これらの点を議論し、これからの「1968」論を見通します。



新曜社 2020年4月刊
A5・232ページ 本体2,300円＋税
社会運動史研究ウェブサイト（下記参照）に目次掲載

コメンテーター

箱田徹

天理大学教員、思想史・現代社会論、著書『フーコーの闘争』慶應義塾大学出版会・2013年、翻訳K・ロス『68年5月とその後』航思社・2014年

仲田教人

高崎経済大学非常勤講師、政治学・思想史、論文「内戦とコミュニケーション」『福音と世界』2020年8月号、「住民運動のなかの『苦海浄土』と水俣病闘争篇」『石牟礼道子』河出書房新社・2018年

日時

2020年8月22日（土）
午後1時00分～3時00分

参加方法

オンライン 事前登録制

参加希望のかたは、8月20日（木）までに下記URLから事前登録ください
<https://forms.gle/EyUrXryTSasMaL9u5>

- 参加費無料
- 定員に達した場合、先着順となる可能性があります



主催 問合せ

『社会運動史研究2』編者一同（大野・小杉・松井）
socialmovementhistory2018@gmail.com

第2回のイベントを9月上旬に予定しています。詳細は、社会運動史研究ウェブサイト（<https://socialmovementhistories.jimdofree.com>）をご覧ください